

留学先国名 : ベルギー

留学先学校名 : KU Leuven 大学

留学期間 : 平成 28 年 2 月 1 日 ~ 平成 28 年 7 月 26 日

この留学生生活を振り返ってみると、環境や多くのいい友達に恵まれたおかげで楽しく充実した日々を過ごせたように思えます。私が留学していた大学では、到着後 1 週間くらいの間オリエンテーションが設けられていたおかげで最初の友達作りも特に困ることはありませんでした。授業が始まってからは、昼間は勉強し、夜は寮の仲間とパブやパーティーに行き交流するという生活でした。そのため、一日を通して英語に触れる機会が多く、私も友達と仲良くなりたいという一心で必死に英語を聞き取ろうとしていたため、毎日が勉強のような日々でした。休日は寮で BBQ をしたり、交換留学生ネットワークのイベントに参加して国際交流を進めたりと大忙しでした。学業面でも授業に何とかついていこうと、わからないことがあれば授業後すぐに先生に質問しに行ったり、予習の段階で足りない知識（日本で勉強していたこととは少し違う分野の科目を履修していたため）を補うために日本語の文献を探して理解を深めたりしていました。このように留学時は毎日アクティブに生活していましたが、実を言うと留学する前の自分は、人とのコミュニケーションが大の苦手だったためかあまり外に出たがらない人間で、世間知らずだったうえに実家暮らしのため何でもできないことは母親に頼ってばかりの一人では何もできない、まさに他人に依存して生きているような人間でした。しかし、この留学でベルギーという一度も行かなかった国、日本から遠く離れた異国の地で生活することで多くのことを吸収できた気がします。最初は慣れない一人暮らしに苦戦しており、授業も何を言っているのかさっぱり分からず、どうすればいいのか全く分からない状態で常に誰かに助けを求めていました。しかし生活していくうちに自分一人の力でも何をしなければならぬか、今直面している問題を解決するためには何が必要かを自ら考えて対処することで、一見できなさそうなことでも解決できるということに気づくことができました。逆に自分から何もしなければ何も解決できないし、いつまでたっても自分自身を成長させることはできないと意識が変わったことで積極的に何かに取り組もうという姿勢になったと思います。そしていろいろなことに対して積極的に取り組む姿勢は周りの人々からも大きく影響されたと思います。その代表的な例が授業で、日本では自分から発言しないばかりか、就職するのに大学で学んだことがさほど問われないせいか、さほど授業に対して真剣に取り組んでいない人が多く存在している気がしますが、現地大学の学生は本当に皆熱心に授業に取り組んでいて、先生に指示されなくても質問がたくさん飛び交い、そのままディスカッションになることもしばしばありました。また社会問題などに対しても積極的に興味を持ち、他愛ない話の中に突然そのような真剣な話題を振られることが多く、特にインドやアフリカなどの発展途上国出身の学生の授業だけでなく、異文化の事情や社会問題などあらゆる物事を学ぼうとする意欲はすさまじく、本当に感服しました。正直日本の学生のレベルは海外の学生に比べて大きく遅れているなど感じずにはいられず、日本の学生の実態を他の留学生に話したときは本当に恥ずかしい気持ちでいっぱいでした。しかし留学でそのような実態を目の当たりにしたからこそ、今度は自分が帰国した時にいろんなことを

吸収しようと努力して、少しでも日本の学生の学ぶ意欲がない土壌を変えていこうと思うようになりました。また先述のように日本人、外国人問わず様々な文化的背景を持つ人たちの様々な意見に触れる機会が多かったためか、異なる価値観や考え方に対して以前よりも寛容になれたと思います。留学前や、留学したての頃は、異なる考えに対して「それは間違っている」「こうあるべきだ」と考えることが多かったですが、いろいろな考え方に触れあっていく中で正解は一つではないし、そもそも「正しい考え」というものは存在しないと感じるようになりました。その結果、以前は他人に強く主張されると「自分は間違っている、こう考えないといけない」と思い込んですぐに自分の主張を変えてしまうことや起こそうとしていた行動を その場でやめてしまうことが多かったのですが、今では「確かにそうかもしれない、でもこれが自分のやり方だ」と自分の考えややり方を通せるようになりました。正直、英語力の変化よりもこのような考え方の変化や、生き方の変化の方が自分にとっては大きかったかのように思えます。けれどもそれは常に積極的に行動しようと意識していたからこそ得られたものだと思います。これから留学される方々もたくさんいらっしゃるとは思いますが、留学生活はどんなにつらくてもまずは自分から動き出さないと何も得られません。長期短期問わず、せっかく自分自身が変わったり異なるものに触れたりするチャンスが一步出るだけでたくさん転がっているのに自分の殻にこもってばかりだと本当にもったいないです。もちろん留学は楽しいことだけではありません。言葉も文化も習慣も考え方も何もかも違うところに放り出されるわけですからそれをストレスに感じることももちろん起こるべくして起こることですし、私も現にそのような人々をたくさん見てきました。けれどもそこでただ「もう嫌だ、帰りたい」「どうして私だけこんなに苦しいのか」などと嘆いて過ごすだけなのと、それを乗り越えようと自分で考え、行動・対処していくのでは得られるものは雲泥の差です。価値観の問題でも同じです。「相手は間違っている、おかしい」「どうして自分の考えが通用しないんだ」と一点張りで相手に一切歩み寄らない姿勢を取り続けているのは相手を拒み、自分の価値観に閉じこもっているのと同じなので、そうしている限り何も変わりません。自分を変えたいと思うのなら自分から変わろうとアクションを起こしていくことを意識することを常に忘れないでください。そして当たり前だと感じていたことや自分を支えてくれたすべての人々に感謝する心も忘れずに、いい体験、悪い体験問わずに一つ一つの体験をかみしめながら充実した留学生活を送ってください。